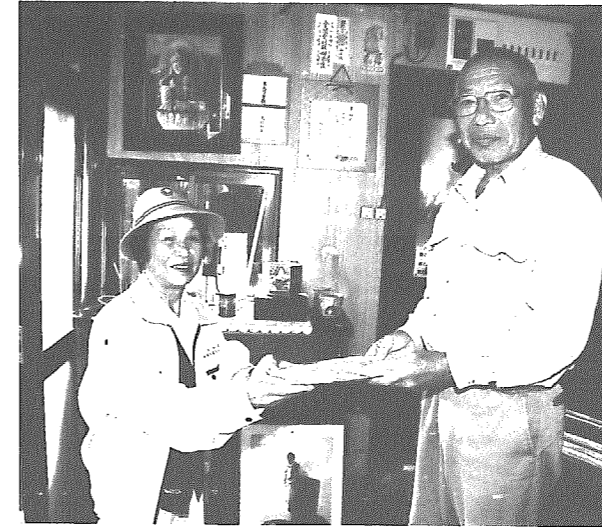


街頭指導・高齢者宅訪問等を実施し
交通事故防止を呼びかける

「夕暮れの道路を照らす マナーとライト」をスローガンに、9月21日から30日まで「秋の全国交通安全運動」が実施されました。今回の運動の重点は、「高齢者の交通事故防止、薄暮時における交通事故防止、シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底」でした。

この期間中、交通事故をなくそうと町内でも運動を展開。交通安全指導員や交通安全協会、交通安全母の会、駐在所員、PTAなどの皆さんが参加し、町内主要交差点で朝の街頭指導が行われ、子どもたちの通学中の安全を見守りました。また、26日には木津地区の120軒ほどの高齢者宅を訪問し、チラシや反射材などを配って、交通事故に注意するよう呼びかけました。

日没が早まるこれからの季節、ドライバーや自転車に乗る人は早めにライトをつけ、歩行者は外出する時は明るい服装や反射材などを着用しましょう。



秋の一日“よこごし”を歩く
第4回よこごしふれあいウォーク開催!!

10月5日、町内全域で“よこごしふれあいウォーク”が開催されました。

町内の名所を巡りながら、地元よこごしをもっとよく知り、町民の和をひろげ、健康増進を図ることを目的に、平成12年から始まりました。

4回目となった今回は、子どもから高齢者まで535名が参加。当日は雨も心配されましたが、無事晴れてウォーキングにちょうど良い一日となりました。参加者たちは町内各地の遺跡や史跡を見学し、横越町のことを再認識しながら、体力に合わせて歩き、心地よい汗を流しました。各地域の休憩所では、地域性のあるサービスを受け、参加者から喜ばれました。

町内一周をマラソンで2時間で達成した人をはじめ、完歩した方が35名。完歩した皆さんには、完歩証が贈られました。



スポーツの秋 汗を流して仲良くなる
地域公民館親善スポーツ大会開催!!

10月12日、総合体育館を会場に、“地域公民館親善スポーツ大会”が開催されました。

この大会は、各地域間の親善を目的に、地域公民館連絡協議会が主催となって毎年開催しています。今年の競技種目は4人制ソフトバレーボール。当日は小・中学生から大人まで合わせて210人が参加しました。

大会の結果は次のとおりです。

Aブロック	優勝	上町Dチーム
	準優勝	沢海スペシャルメリーズ
	第3位	沢海ウルトラモーモーズ
		ク 沢海スーパーモンキーズ
Bブロック	優勝	上町Aチーム
Cブロック	優勝	東町Cチーム
Dブロック	優勝	木津Cチーム
小学生の部	優勝	二本木子どもチーム



作品展示だけでなく、体験コーナーも充実
横越小学校で学習フェスティバル

10月19日、小学校で学習フェスティバルが開催されました。作品展示が中心のこれまでの文化祭とは異なり、学校と保護者、地域が一緒になって、様々なイベントや体験コーナーを企画・運営し、普段味わうことのできない体験活動を子どもたちにしてもらおうと、名前も内容も変えて、今年初めて開催されました。

体育館では、ジャズ演奏会が行われ、ピアノやドラム、トロンボーンなどが奏でる、踊るような生演奏が披露され、最後には、演奏に合わせて子どもたちも一緒に歌いました。また、子どもセンター、地域公民館、PTAなど多くの方々が参加して、体験イベントを開催。スライム作り、シャボン玉や折り紙、風船などを使った遊び、水墨画体験など、どのコーナーも子どもたちは目を輝かせ、歓声を上げながらチャレンジしていました。

各教室では、絵画や工作といった子どもたちの力作も展示され、楽しさ・発見がいっぱいのフェスティバルでした。



↑ジャズの生演奏とともに歌う子どもたち

←スライムづくりに挑戦

自然素材で作られた珍しい棧俵(さんばいし) 神楽
新潟市内で伝統の舞を披露

10月4日、新潟市古町のNEXT21を会場に、芸能プラザにいがた座が開催されました。

この催しは、様々な年齢層に広く郷土芸能を見て知ってもらい、伝承保存することを目的に、新潟市と新潟市芸術文化振興財団の主催により年2回開催されています。

65回目を数える今回は、市内の民謡クラブなどとともに、木津地区に伝わる棧俵神楽(詳しくは広報よこごし10月号表紙を参照)が出演しました。同保存会の8名が参加し、大勢の観衆の前で、笛や太鼓に合わせて舞を披露。米俵のフタとなる棧俵からできた大きな口、竹で作った歯、クマビエの髪の毛、ナスの目など、愛きょうある独特の風ほうとこっけいな舞に、行き交う人も足を止めて見入っていました。舞が終わると、じっくり獅子頭を眺めたり、保存会の人たちに話し掛けるなど、大きな反響がありました。

10月18日にも、ふるさと村で観光客に披露しました。



梨の収穫を体験する吉田貴恵さんと、広報マンとしてインタビューする小池亮太さん(小池さんに記事を作ってもらいました)

様々な仕事を体験し、大変さ、大切さを知る
中学校2年生全員の職場体験学習

10月9日、横越中学校の2年生118名が、町内や新潟市などのスポーツ店や美容室、飲食店、消防署など様々な仕事の体験学習に行ってきました。

生徒たちは、それぞれの職場で実際に仕事を体験。職場の方に質問をしたり、指導を受けながら、仕事の内容や大変さ、やりがい、厳しさを教わりました。

二本木の農園に参加した生徒は、実際に梨もぎを体験し、出荷する準備を一生懸命に行いました。「こんなに梨が大きいとは思わなかった」「楽しかったな」などと感想を述べ、農園の塚原さんは、「1年中忙しいが、秋の収穫ほどの楽しみはない」と答えてくれました。

また、美容室などのサービス業の体験に行く生徒は、事前に先生からあいさつの指導など受けました。

ふだんの授業と違った体験を通して、中学生にとって将来の参考になったのではないのでしょうか。